

My Hobby My Sports!!

趣味を通じた生きがいつくり

—カヤックとの出会いを教えてください。

瀬戸内海に浮かぶ大久野島は、別名「ウサギ島」とも呼ばれ最近注目を集めています。私は夏になると友人とよく遊びに行っていました。この島へは船でしか渡ることができず、「船の時間を気にせず、自由に行けたらな」と思っていました。そんな時カヤックを漕いで無人島に渡る話をテレビで観て「これなら好きな時に自由に渡れる！」と思い、始めてみました。

初めてカヤックを漕いだ時は、海の上を滑るように進む感覚や、目の前に広がる海拔0mの景色がとても新鮮で感動しました。

—カヤックの魅力は？

カヤックからならではの風景やきれいな海の底を見ることができ、自然の素晴らしさを感じ取ることができるからです。また、無人島でコーヒーを沸かして飲むと、くつろいだ気分となり、その時間がとても楽しいのです。

—どのくらいのペースで乗られていますか。

私が所属する「江田島カヌークラブ」の仲間たちと、月1回くらい乗っています。

—「江田島カヌークラブ」とは？

主に定年後の第二の人生をどのように過ごそうかと考えていた人たちが、「江田島で手作りカヤックを展示」という新聞記事を見て集まり、自分たちもカヤックを作って乗ろうと意気投合して、2009年に発足させたクラブです。現在43名で平均年齢は65歳です。カヌーの魅力を広めるため、カヌー教室やカヤックツアーを開催したり、定期的に海の清掃を行ったりしています。その他、カヤックの製作やメンテナンスも行っています。私は現在、クラブの副会長として、クラブ運営やカヤックの指導など

カヌーとカヤック

パドルという漕ぐ道具を使って乗る舟を総称してカヌーといいます。パドルの形状の違いでカヤックといたりカヌーといたりしています。水かきが左右にあるものを使用する舟をカヤック、片方だけのものを使用する舟をカヌーと呼んでいます。私が今乗っている舟は、海で使用するカヤックなのでシーカヤックといい、時速6~8kmのスピードがでます。また、2泊3日のキャンプができるくらい荷物を積むことができます。

カヤックで楽しむ 海拔0mの景色と無人島のコーヒー

を行っています。

—カヤックを始めて何が変わりましたか。

週末が楽しみになり、「5日間仕事を頑張るぞ」という気持ちになりました。

—カヤックを継続できている要因は？

一番は江田島カヌークラブに行くのが楽しいことです。みんなとカヤックに乗るのも、自分の乗るカヤックやパドルを工夫して作ったりすることも面白いです。

—カヤックを始めてよかったことは？

いろいろな価値観や考え方を持った人たちと出会い、多くを教えられたことです。

—田尾さんにとって、カヤックはどのような存在ですか。

一人でのんびりすることができる一方、大勢でワイワイ楽しむこともできる、私にとってかけがえのない時間を過ごすことができる楽しいスポーツです。ストレスを発散するのにも役立っています。現在、江田島カヌークラブの最高齢者は74歳なので、私もその年齢までは何とか続けたいと思っています。

—ありがとうございました。

田尾 直人

広島県立呉高等技術専門学校
副校長(兼) 訓練課長

【たお・なおと】昭和36年、愛媛県今治市生まれの広島県江田島市育ち。民間企業を経て平成3年広島県入庁。以降、職業訓練に携わり、現在に至る。



カヌー教室での指導風景



厳島神社の鳥居と海拔0mの景色を楽しむ田尾さん